

第4回 JCHOりつりん病院地域協議会 議事録

開 催 日 平成30年3月15日(木) 15時30分～16時25分

開 催 場 所 JCHOりつりん病院 本館3階会議室

出 席 者

○院外・・・虫本光徳(医師会)・横井徹(医療機関)・岡谷豊(行政/保健所)・宝山秀逸(利用者/患者)

○院内・・・前場院長・大橋副院長・大森副院長・富木田事務長・軍神総看護師長・川畑事務長補佐(総務企画)・一ノ瀬MSW(地域医療連携室)

議事内容

1. あいさつ (病院長 前場隆志)

2. 議長選出

病院長を議長とする。(選出根拠⇒地域協議会設置要綱の第4条)

※出席者全員了承

3. 議題

(1)りつりん病院の現状について (病院長 前場隆志)

次年度についても、急性期病床(7対1)、地域包括ケア病棟、回復期リハ病棟で進めていく予定です。

(2)患者動向・事業概況について (事務長 富木田武)

※資料に沿って報告

29年度は黒字を達成できる見込みです。

(3)訪問看護ステーションの活動について (総看護師長 軍神弘美)

※資料(活動実績表)に沿って報告

(虫本委員)

在宅看取りの場合は医師の担当を決めて24時間対応しているのですか。

(軍神総看護師長)

主治医制ですので、基本的には主治医が対応しています。

ご紹介で当院の医師が主治医となり対応する場合もあります。

(4)平成 30 年度診療報酬改定について (副院長 大森浩二)

※資料(平成 30 年度診療報酬改定に伴う入院料の変更点)に沿って説明

○一般病棟 7 対 1 入院基本料

現状であれば急性期一般入院基本料 1 が算定可能

○地域包括ケア病棟入院料 1

地域包括ケア入院料 1 を目指すが、追加された施設基準について確認、検討が必要。

○回復リハビリテーション病棟入院料 2

現体制ではリハビリテーション入院料 3 が算定可能

(虫本委員)

診療所から紹介した患者さんが直接地域包括ケア病棟に入院することはありますか。

(大森副院長)

現在のところ、相当治療が必要な場合は、一度 7 対 1 病棟で入院していただき、症状が安定してから地域包括ケア病棟に転棟していただいています。追加された施設基準に、自宅等からの入棟患者割合が 1 割以上という項目がありますので、症状によりますが、直接入棟の患者を増やす検討をしています。

(5)レスパイト入院の受け入れ体制について (地域医療連携室 一ノ瀬郁子)

※別紙資料(地域包括ケア病棟レスパイト入院のご案内)に沿って説明

(横井委員)

以前患者のご家族にレスパイトの事を話しても、情報を知らないという方もいましたし、気が引けるという方もいましたので、在宅の現場でご説明していただく必要があると思います。

(前場院長)

広報誌や、ホームページ等でお知らせすることを検討してみます。

(岡谷委員)

介護保険のショートステイとの違いは？

(一ノ瀬 MSW)

医療度の高い方、常時介助が必要な方で、施設に預けるのが不安な方等が対象となります。

(6)その他（ご意見等）

（宝山委員）

りつりん病院に入院された患者さんから、りつりん病院の対応がとても良かったと協議会でぜひ伝えてくださいと言付かっております。

（岡谷委員）

保健所の地域医療の担当をしていますが、りつりん病院には2次輪番でお世話になっております。当番日には夜間急病診療所からの転送受入れや、救急の受入れをしていただきありがとうございます。現在行政では、2025年問題もありまして地域包括ケアシステムに力を入れています。地域医療構想での病床数が削減されていく目標の中で、在宅医療について医師会と連携して進めておりますが、りつりん病院では地域包括ケア病棟に力を入れていただいておりますので、在宅医療との連携、提供にご協力をいただければと思います。

（横井委員）

外からみても、数年前に新しい機構に移行した当時は大変だったと思いますが、そこから比べると、大分落ち着いてきたのかなという印象を持ちました。今後の診療報酬改定についても対応出来そうだということですが、気になるのは、レスパイトや地域包括ケア病棟に、直接関係する現場の医師や看護師の方の負担になってくるとも少なからずあると思いますので、うまく進んでいけばと思います。

（虫本委員）

高松市介護認定審査会の医療側の推薦枠について、りつりん病院は13ブロックに属しておりまして、その他複数病院ありますが、そこから1人介護認定審査員を選任していただき、医師会から推薦し、高松市長から委嘱され認定審査会に加わっていただいているところです。現在13ブロックでは、ほとんど1人の先生が担当されておられる状況でして、医療と介護の連携という事がレスパイトを含め、これから浸透していくと思いますので、他の医師の方にも介護認定審査会への協力をお願いいたします。

（前場院長）

現在当院の1人の医師がずっと担当していますので、後任の医師について検討させていただきたいと思います。

（前場院長）

閉会の前に、りつりん病院の院長を15年間務めさせていただきましたが、3月末で院長を辞することにいたしました。後任は大森浩二副院長に決定しております。長い

間本当にお世話になりました。目標に掲げていました病院を現地で建替えるという事に関しましては、JCHO に移行する前からストップしていましたが、運営が順調になりつつありますので青写真を作って進めていこうとしております。この病院は色々な意味で未来がある病院だと考えておりますので、ご理解の上ご協力をよろしくお願いいたします。

(7)閉会のあいさつ（副院長 大橋洋三）

本来は急性期医療を続けてきましたが、今の時代それだけではいけないということで、フレキシブルに対応し、地域に根ざした地域の為の病院として前向きに取り組んでまいりますので、ご支援のほどよろしくお願いいたします。

連絡事項（事務長 富木田武）

次回の開催日程について、要綱で年1回以上開催すると定められていますので、平成30年度については、9月と3月に予定しておりますので、お忙しいとは存じますがご出席をよろしくお願いいたします。